

2001年通常総会議事報告

1. 会長挨拶

開会の冒頭、上島会長は1面掲載の挨拶を述べられたあと、事前に財政逼迫のに関して 関西合同三田会の収支、 事務員の退職金の支払い、 阪神大震災見舞金について資料で説明してほしい旨が記載された質問状があったので、別途過去8年間の通常収支と上記質問事項を含む特別収支についてグラフも交えた資料を追加して配布したので、確認いただきたい旨を報告した。

また、会計に関しては公明正大であり、過去の帳簿や証票について質問等があれば、いつでも倶楽部ルームで閲覧等ご確認いただきたいと述べた。

2. 議事内容

第一号議案 2000年度事業報告

今年は総会議案書を事前にメールとHP、及び倶楽部ルームでの配布により事前にほとんどの会員が目を通しておられることを前提に、また会長の挨拶で報告がなされたこともあり、字句の読み上げ等は省き、要点だけを幹事長から説明し満場一致の拍手を持って承認を受けた。

第二号議案 2000年度会計報告

幹事長から、今年から企業会計原則を取り入れこれまで現金ベースの収支表であったものを収支計算書、 貸借対照表、 現金収支表の三表を持って管理することとし、会費について期間対応の原則により過年度の会費の徴収を特別収入、未納会費を未収入金、来年度以降の会費の徴収については前受金として処理した旨報告がなされた。

結果としては、収支はかろうじて7千円強の黒字、総資産は5,748千円、現金収支は317千円の赤字であり、CFでの黒字を目指していたが達成されなかったとの報告がなされた。その後、高橋会計監査から5月22日に倶楽部ルームで監査を行い、正しく処理されていることを確認した旨報告がなされ、満場一致の拍手を持って承認を受けた。

第三号議案 2001年度事業計画(案)

第四号議案 2001年度予算(案)

事業計画と予算は関連するので一括審議とした。

幹事長は今年度方針として 財政構造改革、 会員数300名の達成、 全員参加型の運営を掲げた。予算では収支、CFどちらも黒字化をすることとしたが、会員300名の獲得が前提であり、かなり厳しい予算であるとの説明がなされた。

財政構造改革において倶楽部ルームの移転は避けて通れず、4月、6月と幹事会・評議員会で検討して物件を探してきたが、今般、森本副幹事長の紹介で神戸での由緒ある「神港ビルヂング」に最適の部屋があり、品格、アクセス、賃料(月額約7万円減額)、貸し会議室、セキュリティの面で全て合致しており本総会で本物件に移転することを承認いただきたいと提案し、理解を求めた。

倶楽部ルーム移転も含め、両議案とも満場一致の拍手をもって承認された。

第五号議案 幹事6名選任

八巻晤郎(昭和41年経)、林邦一(昭和41年経)、堀友子(昭和43年商)、内山景介(昭和51年経)、阿部真一(昭和53年商)、市川義人(昭和57年経)を2002年総会迄の任期で幹事に選任したい旨幹事長から提案され、満場一致の拍手をもって承認された。